

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月10日

計画の名称	鎌倉市下水道防災事業計画第2期（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	鎌倉市												
計画の目標	主要な幹線管渠の地震対策を行うことによって、地震時における路面陥没やマンホールの浮上を抑止し、緊急輸送路の機能を十分に発揮することを可能にすると共に、下水道施設の計画的な老朽化対策を図ることによって、持続可能な下水道を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,772	A	4,685	B	87	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	大船処理区における老朽化した処理場（山崎下水道終末処理場）の機械・電気施設改築率を3%（H28）から40%（H31）に増加させる。 大船処理区における老朽化した処理場（山崎下水道終末処理場）の機械・電気設備改築率 改築完了済みの機械・電気施設数（中分類） / 改築予定（耐用年数経過）の機械・電気施設数（中分類）	3%	25%	40%
2	重要な污水管渠の地震対策実施率を21.3%（H28）から30.8%（R2）に増加させる。 重要な污水管渠の地震対策実施率 耐震化完了済みマンホール基数 / 総合地震対策計画に位置付けたマンホール基数	21%	26%	31%
3	長寿命化計画における鎌倉処理区の老朽化したマンホール蓋の更新実施率を44%（H28）から100%（H30）に増加させる。 鎌倉処理区における老朽化したマンホール蓋の更新実施率 更新完了済みマンホール蓋数 / 長寿命化計画に位置付けたマンホール蓋数	44%	100%	100%
4	鎌倉処理区における幹線圧送管の改築率を0%（H28）から10.7%（H30）に増加させる。 鎌倉処理区における幹線圧送管の改築率 改築完了済み延長 / 幹線圧送管の延長	0%	11%	11%
5	ストックマネジメント計画における鎌倉処理区の老朽化したマンホール蓋の更新予定数50基を更新する。 鎌倉処理区における老朽化したマンホール蓋の更新数 更新完了済みマンホール蓋数	0基	0基	50基

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）	（H30末）	（R2末）
6	処理場、ポンプ場等のストックマネジメント計画（点検・調査計画）策定率を0%から5%にする。			
	処理場、ポンプ場等のストックマネジメント計画（点検・調査計画）策定率 ストックマネジメント計画（点検・調査計画）策定に必要な作業項目実施済数（中分類）/ストックマネジメント計画（点検・調査計画）策定に必要な全作業項目数（中分類）	0%	0%	5%
7	鎌倉処理区における処理場（七里ガ浜下水道終末処理場）建物の耐震診断実施率を0%から61%にする。			
	鎌倉処理区における処理場（七里ガ浜下水道終末処理場）建物の耐震診断実施率 耐震診断実施済床面積 / 耐震診断実施予定の床面積	0%	0%	61%

備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む -

平成30年度から重点計画へ切り出した事業個所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	終末処理場	改築	山崎下水道終末処理場長寿命化事業	汚泥焼却設備改築工事 汚泥処理設備詳細設計及び改築工事	鎌倉市						4,317		策定済	
	A07-002	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠(汚水)	改築	汚水管渠耐震化事業	可とう継手設置 46箇所 人孔浮上抑制 23基	鎌倉市						33		策定済	
	H30から重点計画に移行																			
	A07-003	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠(汚水)	改築	鎌倉処理区汚水管渠長寿命化事業	人孔蓋更新 84箇所 圧送管改築 L=394m	鎌倉市						166		策定済	
	A07-004	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	管渠(汚水)	改築	鎌倉処理区汚水管渠ストックマネジメント事業	人孔蓋更新 50基	鎌倉市						34		策定済	
	A07-005	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	-	-	ストックマネジメント計画策定事業	ストックマネジメント計画策定(処理場、ポンプ場等点検・調査計画)	鎌倉市						32		-	
A07-006	下水道	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	終末処理場	改築	七里ガ浜下水道終末処理場耐震化事業	耐震診断 床面積17,800㎡	鎌倉市						103		策定済		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等の第三者により構成された鎌倉市下水道事業運営審議会にて、評価指標の実施状況及び今後の方針について意見を求めた。	令和4年(2022年)7月
	公表の方法 鎌倉市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>指標1：大船処理区の焼却設備、汚泥処理設備の改築及び長寿命化事業により、処理機能の維持が図られた。</p> <p>指標2：移行先の重点計画で評価を行う。</p> <p>指標3・5：マンホール蓋更新により、緊急輸送路における老朽化に伴う蓋の浮上・飛散及びスリップ、転倒等の原因による事故予防に寄与した。</p> <p>指標4：幹線圧送管改築により、当該区間の耐用年数の延伸及び送水機能を確保した。</p> <p>指標6：浄化センターにおけるストックマネジメント実施計画の一部が完成した。</p> <p>指標7：耐震診断の実施により、七里ガ浜下水道終末処理場のA系水処理設備及びB系管理棟部分における耐震性が把握できた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<p>山崎下水道終末処理場長寿命化事業：ストックマネジメント全体計画において事業を継続する。</p> <p>鎌倉処理区污水管渠長寿命化事業：老朽化が進行している管路施設の修繕事業を継続していく。</p> <p>鎌倉処理区污水管渠ストックマネジメント事業：老朽化が進行している管路施設に対して、継続して改築事業を実施していく。</p> <p>ストックマネジメント計画策定事業：ストックマネジメント全体計画を完成させ、ストックマネジメント詳細計画に事業を引継ぐ。</p> <p>七里ガ浜下水道終末処理場耐震化事業：七里ガ浜下水道終末処理場の耐震診断を完成させる。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	山崎下水道終末処理場の機械・電気設備改築率	
	最終目標値	40%
	最終実績値	40%
2	重要な污水管渠の地震対策実施率	
	最終目標値	31%
	最終実績値	53%
移行先の重点計画で評価を行う。		
3	鎌倉処理区における老朽化したマンホール蓋の更新実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	鎌倉処理区における幹線圧送管の改築率	
	最終目標値	11%
	最終実績値	11%
5	鎌倉処理区における老朽化したマンホール蓋の更新数	
	最終目標値	50基
	最終実績値	58基

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	処理場・ポンプ場等のストックマネジメント計画（点検・調査計画）策定率	
	最終目標値	5%
	最終実績値	5%
7	七里ガ浜下水道終末処理場建物の耐震診断実施率	
	最終目標値	61%
	最終実績値	61%